

テーマ

地域の宝を育てる応援団 —SAKURA ネットワーク—

目標

～15歳の春に豊かな花を咲かせるための協働～

今年度の取組紹介

地域合同行事としてのSAKURA夢フェスタⅦを開催することができました。この事業は本年度で第7回を迎え、今回のステージでは斑鳩中学校2年生の宮川春菜さんのクラシックギターの演奏を聴き、SAKURA夢スクール英会話教室からの英語劇、都南中学校吹奏楽部の演奏など地域と中学生がともに楽しく鑑賞することができました。なかでも英語劇の出演は3回目となり、よりわかりやすいようにと演出・構成を工夫されていました。午後は中庭で地域の各団体・企業、中学生有志による「カレー都南」の模擬店が出店されました。グラウンドでは、校区対抗大綱引き大会が行われました。



中学校に設置されたコミュニティールームの運営としては、本年度もSAKURA夢スクールの運営支援をおこないました。英会話教室・編み物教室・着付け教室の3講座を開催しました。毎年、都南中学校を訪れる地域の方が増えていっています。



今年度のまとめ

今年度の取り組みにおける成果としては、SAKURA夢フェスタではカレー都南の模擬店運営、前日準備や終了後の片付けを地域の方々と一緒に行うことによって、なかまや地域の方と協力して何かを成し遂げることで達成感や自己有用感をもてるようになってきたのではないかと思います。ステージ出演は中学2生のクラシックギターの演奏を鑑賞し、同じ年代の人の頑張っている姿を見たのは良い刺激になったと思います。また、地域の方々からも良い感想がいただけました。

SAKURA夢スクールは4年目を迎え、多くの地域の方に知ってもらえているようで、特に英会話教室は受講希望者が多く2クラス開講しました。

SAKURAネットワークの活動を広報する場として都南中学校のホームページを活用し、更新の回数を増やしたところ1日のアクセスが年度当初30程度だったのが1月には150アクセスまでに増えてきました。

来年度に向けて

SAKURAネットワークの活動をより多くの方に知ってもらうために、アクセス数が増えてきたホームページの内容をもっと見やすくわかりやすいものにし、アクセス数をのばしていきたいです。

SAKURA夢フェスタ、SAKURA夢スクール、放課後自習室などで多くの地域の方が学校へ訪れるようになったので、次は生徒たちが地域の中で活動できる場の提案を考えていきたいです。

テーマ

地域に開き、地域と共につくる学校

目標

- 生徒・教師・保護者・地域の協働の推進
- 保護者・地域から信頼される開かれた学校づくりの推進
- 基本的な生活習慣確立と規範意識の向上
- 学び合い、共に高め合う学級集団を基本とした「学びのスタイル（都南スタイル）」のさらなる定着と深化による学力向上

今年度の取組紹介

年間を通じて、校舎内外の修繕や清掃、花壇運営など学習環境を整える取り組みが行われました。さらに、生徒たちが地域に出向いて街の清掃活動を行う「クリーンキャンペーン」も実施しました。

SAKURA夢フェスタでも、生徒が準備や片付けなどで地域の方のお手伝いをし、「助かるわぁ」「ありがとう」「来年も頼むで」などのお声かけをいただき、「役に立っている」「感謝されている」「頼られている」といった自己有用感を得ることができ、大きな成果があったと感じています。

また、体育大会は、「一人でも多くの地域の方に学校を知ってもらいたい」という願いから、地域との共催で行っており、その結果、地域の方が単に学校を知るだけで無く実際に学校行事の運営に携わることで、学校への理解がより進んだと思います。

さらに図書館ボランティア活動では、継続的に地域の方による読書推進活動が行われており、多くの生徒が図書館を利用しています。



SAKURA夢フェスタ
(準備風景)



図書館ボランティア

今年度のまとめ

様々な取り組みで、生徒たちが地域の方々と共に活動するなかで、地域の方々からたくさんのお声かけをいただき、生徒たちが自己有用感を感じることができ、大きな成果があったと思います。また、ボランティアの方々を始め、多くの地域の方々为学校へ足を運んでくださったことにも成果を感じています。

来年度に向けて

来年度も「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに掲げ、事業を推進していこうと考えています。引き続き、地域の人に学校へ足を運んでもらう取り組みを継続しながら、その中で生徒たちが「自己有用感」を感じられるように工夫し、規範意識の醸成につながればと考えています。

テーマ

子ども力育成プロジェクト

目標

一関わり合いを通して豊かな学びを育む一

今年度の取組紹介

「子ども力」とは、未来に向けてや憧れをもって、その子なりに発揮できる力とか考えています。そこで、子どもたちが多くの人と関わり、子どもたちの「熱中する力」「好奇心を抱く心」の育成を進めるための事業を学校と地域が協議し計画し活動を実施しました。地域の方々との協働で、学校内の環境整備は年々進んできています。ここでは、「東市まるごと子どもフェスタ」と「菜の花プロジェクト」を紹介します。本校では毎年10月に日曜参観を実施し、参観後に地域の方々、PTA、TNP（東市日本一プロジェクト）、本校職員の協働で催し物をしたり模擬店を出したりして「東市まるごと子どもフェスタ」を行っています。今年度は、〈東市まるごと ぼかぼか わくわく いきいき〉をテーマに開催しました。子どもたちはもちろん、地域の方々も楽しみにしておられ、地域、家庭、学校が交流できる機会となっています。



「菜の花プロジェクト」は、地域のボランティアの方々と種を蒔くところから始め、1年間育てた後、刈取り、脱穀、搾油の作業を行い取れた菜種油は世界遺産学習時に春日大社と興福寺にお渡ししています。また4年生の握り墨体験時にも使用しています。



今年度のまとめ

今年度の事業も東市小学校運営委員会です話し合いを重ねて、地域と学校との連携・協働による事業の計画を練り、実施してきました。様々な事業にたくさんの方々が参加してくださいました。「環境整備事業」や「東市まるごと子どもフェスタ」では、地域の方々、保護者の方々、本校職員が共に活動することで、三者の連携の深まりを感じました。地域の方々には、打ち合わせから熱心に取り組んでくださり、東市校区全体で本校を見守り、本校に通う子どもたちを育てていこうという気持ちが伝わってきました。

来年度に向けて

今年度まで継続されて軌道に乗ってきている事業をさらに改善しながら発展を目指し、東市校区全体の一体感を高めていきたいと考えています。そのためには、地域ボランティアの固定化・高齢化の解消を図るための策を考え、実施し、たくさんの方々に支援事業に関わっていただけるようにしていきたいと思ひます。また、本校職員と地域の方々との連携もさらに深めていきたいと考えています。

テーマ

学力向上に向けて豊かな心を育み規範意識を醸成する

目標

地域とのつながりを感じる環境整備、学習支援活動を充実する

今年度の取組紹介

○環境整備事業

一年を通して玄関周りの植栽活動をしていただき、常に花が飾られた玄関となっていました。また、季節ごとに玄関や職員室前の廊下の飾り付けをしていただき、きれいな手作りの飾りに、みんな足を止めて見入っていました。夏のペンキ塗りでは、地域、保護者、児童、職員が一丸となって特別支援教室のペンキ塗りをしました。

○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも3年生や2年生の「校区探検」では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの方が参加があり、地域のことについて詳しく児童に教えていただきました。また、家庭科では調理や裁縫の実習ごとにボランティアの方に実習の補助をしていただきました。ミシンの使い方や野菜の切り方等を優しく教えていただきました。



○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが毎週水曜日に朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さりました。本好きな児童が増えています。児童の読書力向上へつながってきています。



今年度のまとめ

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。登下校の見守り活動や校区探検の補助、家庭科の実習補助等、地域の方々と触れ合う機会がたくさんあったことにより、児童と地域の方々の距離感がより縮まり、児童は地域の方の名前を覚えたり、地域の方からは登下校時に児童とこんな会話をした、こんなやり取りをしたと聞かせていただくことができました。ありがとうございます集会では、その気持ちをボランティアの方々に伝え、感謝の気持ちを込めて作ったプレゼントを渡すことができました。今年度は地域ボランティアの方全員に案内状を送ったので11人の方に参加していただき、より多くの児童が感謝の気持ちを直接伝えることができました。

4年、6年の学力調査における読解の分野の正答率が前年度に比べて上昇した。読書力向上事業に取り組み続けてきた成果が現れてきたのではないかと考えられます。

来年度に向けて

活動ボランティアの固定化や高齢化が進んでいる現状があります。新たな人材を発掘し最低でも現状並みの人数を確保できるよう地域に働きかけていく必要があります。また、ボランティアの方を有効に活用しきれない現状があるので、より多くの方に力を発揮していただけるよう運営委員会を中心に活動内容を整理し、考えていく必要があります。また、活動の後に振り返りの時間を設定し、課題等について検討することで活動の活性化を図りたいです。

テーマ

「やさしく、かしこく、力もち」の明治っ子

目 標

- 確かな学力の育成をめざす（学力向上推進事業）
- 豊かな心の育成をめざす（読書活動推進事業）
- 強い体の育成をめざす（体力向上推進事業）
- 花いっぱい为学校づくりをめざす（環境整備事業）

今年度の取組紹介

○ 言語教育活動（読む力を高め、確かな学力へ）の充実

学力向上の目標を達成するため、今年度は研究の2年目として、言語教育活動を中心にさらなる学力向上をめざし、読む力を高め、確かな学力に結び付けるため、地域から様々な協力を得ながら取組を進めてきました。国語の授業力を高めるための職員研修、郷土への愛着を深めるための学習、また高い人権感覚を養うための学習会など様々に取組を進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマスク体験学習など、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育む取り組みを行いました。



○ お話の会や読み聞かせなどの取り組みから読書に親しむ子へ

朝のチャレンジタイムの読書タイムに加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」1年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備などに本事業を活用し、取り組みを進めていくことができました。



○ みんなで花いっぱいの学校づくり

校舎改築により花壇等は縮小されましたが、地域の方々の協力のもと、教職員児童が主体的に環境整備に関わってプランター栽培に取り組み、年間を通して花の絶えないように環境整備を続けてきました。

また地域万年青年クラブの皆さんやPTAの協力を得て、校庭の樹木整理、草引きなど、学校環境整備に尽力いただきました。

**今年度のまとめ**

地域の方々の協力のもと、目標に沿って、各事業を計画通り進めていくことが出来ました。本事業の活動が、地域での毎朝の児童見守り活動に繋がり、児童も参加した地域活動の盛り上がりへと発展をみせてきました。

来年度に向けて

さらに、地域との連携を深め、新たな取り組みの創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」をめざして取り組みを続けたいと考えています。

テーマ

地域とスクラム、学び育ち、輝け帯解っ子

目標

豊かな感性をもち地域とともに主体的に生きる子供を育成する。

今年度の取組紹介

学校教育に対して協力的で、児童が地域の宝と考えてくださる方々が校区にたくさんおられます。帯解小学校では、地域の方々がゲストティーチャーとして招き、学習活動の中に聞き取り学習や体験・交流学習、栽培活動を組み込み、地域についていろいろなことを学んで生まれ育った地域に誇りをもてる子供を育てていきたいと考え取り組んできました。

地域の方からの聞き取り学習では、4～6年生が盲導犬や車椅子、地域の遺産、人権についての話など、様々な方の生き方や苦勞や願いを聞き、人としてのものの見方や考え方を学びました。

地域の方との体験・交流学習では、1・2年生は、万年青年クラブの方々から色々なコーナーに分かれて昔からの遊びを教えてください、昔遊びを体験しました。こども園の園児とは一緒に球根を植えて交流を深めました。3年生は、校区探検で自分たちの住んでいる地域について教えてくださいました。今まで知らなかったことがわかり、地域のよさにも気づきました。また、干柿作りの体験もさせてもらいました。柿をむくのは初めてという子も地域の方に教えてくださいうまくむくことができました。毎年、社会福祉協議会のお世話で餅つき大会をしています。千本杵で餅をつき、つきたてのお餅をおいしくいただきました。

栽培活動では、花・野菜・米を学級園や地域の方から借りた田で栽培し、作り育てる苦勞や収穫の喜びを体験しました。米や野菜を育てるのは、食育教育の一環としての成果がありました。また、花や野菜を育てることで、しっかり観察して大事に育てようと思う心が育ち、豊かな感性を育てるのに大いに役立ちました。



今年度のまとめ

地域の方との体験・交流学習や聞き取り学習は、児童にとって知見を広げ、地域の人とのつながりを広げ、豊かな感性を育てることにつながりました。また、栽培活動を通して、花や野菜をしっかり観察して大切に思う心が育っています。学校評価においてもこれらの地域の方との活動にほとんどの児童は楽しいと答えています。教育活動の様々な場面で、地域の方々に支えられながら児童は育っています。

来年度に向けて

精華・帯解両地区のよさを生かした取組をさらに進め、地域の中で学び、地域に誇りをもてる児童の育成を目指していきたいです。

テーマ

地域と共にキラリと輝く東市の星

目標

健康な心と体の育成をめざして

今年度の取組紹介

本園は田畑・森林が広がる自然豊かな住宅混在地域に位置し、園児11名の少人数で家庭的な雰囲気、園生活を送っています。地域の万歩路窯の先生に指導していただき

『こねこね陶芸教室』を実施しました。絵皿やカップ等粘土遊びの感覚で楽しんで作りました。後日、焼き上がった作品は園内作品展で展示し、園児が説明しながら地域の方や未就園児親子達と一緒に見てまわりました。

『親子運動遊び』では、地域のゲストティーチャーにいろいろな親子体操を教えてくださいました。未就園児親子と一緒に歌いながら親子でスキンシップ体操や新聞紙体操だ時は大はしゃぎでとても嬉しそうでした。

『リトミック遊び』では、毎月、未就園児の親子と一緒にピアノに合わせて動いたり、楽しいゲームをしたりして遊びました。

『押し花教室』では、地域の民生委員の方々と一緒にゲストティーチャーが作られた押し花を使って可愛い貼り絵を作りました。ラミネートの機械から出てくる様子を楽しそうに見て「わあーきれい！」と手を叩いて喜ぶ子もいました。民生の方々も素敵なお品を作られ「玄関に飾ろう」「私でも簡単にできて、嬉しいです」と喜ばれていました。



今年度のまとめ

今年度で閉園となるため、最後の事業となりました。年間を通して実施している「未就園児保育」「絵本読み聞かせ」「親子体操遊び」「リトミック遊び」「親子茶道教室」などは、地域の方の専門性を生かし支援と協力を得ながら、いろいろなことを教えていただき、貴重な体験をすることができました。又、地域の万青の方とする「美化活動」では、草抜きだけでなく、畑の整備もしていただき、とても綺麗になりました。いつも遊び回っている園庭を、地域の方と一緒に汗を流して働く経験やみんなで綺麗にする事の大切さを学ぶことができました。

『こねこね陶芸教室』や『エンジョイ・イングリッシュ』なども、園児や保護者にとって心に残る大事な事業となりました。未就園児の親子登園を通じ、在園児と一緒に遊ぶ事で、園児達は相手を思いやる優しい心が育ち、園内の活性化や地域の交流の場となりました。

来年度に向けて

幼保再編にともない、高円こども園に移行するため、上記の事業をこども園にも引き継ぎ、両地域の協力と支援を得ながら、健康な心と体の育成をめざしていけることを願います。

テーマ

「明治っ子 わくわくだいさくせん」

～地域とのかかわりや「ひと・もの・こと」とのつながりのなかで～
 ・心の躍動や表現力の向上をめざす・生活態度やコミュニケーション力・豊かな感性を育てる

今年度の取組紹介

地域の方に、茶道の先生がいらっしゃるので、『お茶会』を実施。年間計画を立て、礼儀や作法を教えてもらいました。4歳児にとっては、初めての経験なので、挨拶に始まり、正座して座り、いただいたお抹茶の味には、何ともいえぬ表情でした。5歳児にもなると、一年間経験しているので、慣れた様子で、お茶をたてたり、ふるまうこともできました。年三回を通して、貴重な体験ができました。



また、園児と保護者・地域の未就園児と保護者も参加しての土曜参観『ふれあい体操』を明治小学校体育館を借りて行いました。親子で共に体を動かして遊び、その心地良さや、ふれあって遊ぶ楽しさを感じることができました。



民生さんとの交流では、今年初めて『プール遊び』を計画しました。今までと違う雰囲気にも園児も大喜び。「民生さん、見てみて」と泳いでいるところを見てもらったり、一緒に水の中でゲーム遊びをしたりしました。民生さんたちも、久しぶりの水遊びに、童心に戻り、終始笑顔で楽しんでおられました。



今年度のまとめ

今年も、地域の方々や保護者と共に園児と交流し合い、いろいろな体験をすることができました。ふれあいを重ねていくうちに、交流の中ではお互いに話がはずんだり、地域の中で出会うと、「あっ民生さんや」と声をかけてくれるようで、日に日に親近感が増しています。様々な取り組みの中で園児たちは、生活経験を広げたり、感謝の気持ちをもって人にかかわっていかうとする力やコミュニケーションしようとする意欲につながりました。

来年度に向けて

温かい地域の方々に見守られ、熱心な思いを保育にいかし、「ひと・もの・こと」とのつながりにおいて、一人一人が人への感謝の気持ちや自分を取りまく地域、環境を大切に思う気持ちを育み、豊かな心へとつないでいきたいです。

テーマ

ひとりひとりの笑顔がかがやく辰市幼稚園

目標

地域の人や様々な人と触れ合い感じる心を豊かにしていく。
 仲間を大切に、みんなで育ち合う幼稚園づくりに努める。
 体を十分動かして遊び、やる気チャレンジする心をもつ。
 幼稚園、家庭、地域が繋がりに楽しい園づくりに努める。

今年度の取組紹介

<野菜をつくろう>

・毎年、地域の方に協力していただき栽培活動に取り組んでいます。苗や種の植え方、世話の仕方を教えて頂き野菜づくりを体験しました。子ども達は、野菜が少しずつ生長する様子に喜び、収穫を楽しみに大切に世話をしました。大根を収穫するときには、大根の葉っぱをつかみ、力いっぱいひっぱりました。子ども達は、土から大根がぬけ出る時の感触に大喜びしました。地域の方も子どもたちが自然に関わり豊かな体験をする様子を見てやりがいを感じていただき、互いに喜びを共有する体験となっています。



<民生さんとならまち探検>

・6月には地域の民生さんと少人数のグループになりならまち探検にでかけました。おもちゃ館、庚申さん、格子の家、もちいどの商店街を、話をしながらゆっくりと見て歩きました。音声館では一緒にわらべ歌あそびをして楽しみ、触れ合いを深めました。また後日、民生さんから花やひょうたん等を届けて頂き、子ども達を大切に见守っていただいていることや繋がりを実感しています。



<サッカーに挑戦>

・奈良クラブのサッカー選手と触れ合い、ボールを使ったいろいろな遊びを体験しました。魅力的な指導に子ども達は夢中になり、友達を誘い、技を競い合うなど、友達と意欲的に遊びを進めるようになっていきます。



今年度のまとめ

・子ども達は地域の方の温かい人柄を感じ取っているようです。また野菜が苦手だった子どもが、「幼稚園でできたブロッコリーはおいしいから食べるよ。」と、苦手だった野菜を食べるようになり、今後も栽培活動を続けてほしいと、幼稚園評価アンケートで高い評価をいただきました。幼稚園・家庭・地域が共に協力することで、子ども達の健康な心と体をつくる土台づくりができたと感じます。

来年度に向けて

・今年度の様々な取り組みの中で子ども達の笑顔が輝き、豊かな心が育まれました。今年度よかったことを継続し、更に地域の教育力を生かした地域に根ざす園づくりに努めていきたいです。

テーマ 地域に開かれた幼保連携型認定こども園をめざして

目標 園児・保護者・地域が楽しめる園づくりに努める

今年度の取組紹介

○ 教育支援活動『サツマイモの栽培と焼きいもパーティー』

山町地域環境保全協議会よりサツマイモの畑づくりから、苗・肥料などの用意をしていただき、5月30日5歳児27名の子どもたちが地域の方と一緒に植えました。苗の植え方や肥料のやり方を教えて頂き「そっーと優しく植えるねん」と大事に苗を持って丁寧に植える子どもたちを地域の方は見守ってくださり、困っている子どもには声をかけながら手助けしてくださいました。そして、10月4日、大きく育ったサツマイモを4・5歳児66名が地域の方のお世話になり、子どもたちが自分でサツマイモをみつけて掘ることができるように手伝っていただきました。10月25日、子ども達が園の近くの八坂神社で拾ってきた焚き木と収穫したサツマイモを使っての焼き芋パーティー。地域の方においしく焼いて頂きました。0～5歳児全園児で焼き芋をおいしく頂きました。サツマイモ栽培の観察や世話・クッキングを経験することができました。



今年度のまとめ

- 幼保連携型こども園となり2年目、昨年に引き続き地域の方の力をお借りし、生け花体験、秋をみつけよう散策、地域の方の畑を借りてのサツマイモの苗植えや収穫、焼き芋パーティーなど、地域の方と触れ合う機会を持ち、子どもにとってはより豊かな体験ができました。また、砂場によしずを取り付けて頂き、涼しげな日陰が完成しました。こども達は、涼しくなった砂場で、穴を掘ったり型ぬきをしたりして快適に砂遊びを楽しむことができました。
- 子どもたちは次第に来園される地域の方に自分から声をかけるなど、親しみを持ってかかわろうとする姿もみられました。
- こども園の教育、保育を地域の方々にご理解して頂きながら、多くのご協力を得て、事業や取組が進んだと思います。

来年度に向けて

- 引き続き、子どもたちが夢中になって遊び込み、自らが主体的に遊びを展開できるような園庭の環境整備事業を推進し、地域や保護者の方の協力を得ながら、菜園や花壇づくりに努め魅力的な花壇・園庭作りをめざしていきたい思います。また、これらの事業や活動を保護者や地域の方へさらに啓発していきながら、こども園教育、保育への理解をさらに深められるようにしていきたいと思います。